

## ◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 けやの森自然塾

20A-22

代表者：理事長 佐藤朝代

URL : [keyanomorishizenjuku.com](http://keyanomorishizenjuku.com)

---

### 1. 活動が必要とされた状況

40年に及ぶ幼児と小学生の自然体験活動の実績を踏まえ、実際に子どもたちの活動を見て、受講者も体験し、現場との意見交換ができる絶好の環境がある。それを活かして企画力、実践力のある指導者の養成を行う。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

6月2日（金）～3日（土）、延べ30名

- ・ 講義「保育に哲学を～今保育士に求められるもの～」白梅学園大学学長 汐見稔幸先生
- ・ 生態観察と資料作り「テントウムシ」武蔵野学院大学教授 福田直先生
- ・ 講義「子供主体の教育をするために」北陸大学専任講師 瓦林亜希子先生
- ・ 保全体験「間伐と植樹」けやの森自然塾 萩野努
- ・ 野外調理「パン生地づくりとパン焼き」けやの森保育園栄養士 小林舞
- ・ 意見交換会「事例発表」けやの森保育園園長 石井佐恵美

### 3. 活動の成果

埼玉県内から集まった保育士、教諭が2日間にわたり、日高市の雑木林にて活動を行った。実際に林で活動する子どもたちの観察や、教育の思想、生物の観察、保全活動、野外調理など、自然の中で活動する楽しさや心地よさ、自然を守る意味や、野外で子どもたちと活動することの大切さなどを感じていただいた。参加者たちが今後、自園でも野外活



動の輪を広げ、自然の中で子どもたちが活動することで、次世代を担う多くの子どもたちに自然の大切さや、自然を守っていこうという気持ちが養われると考えている。

### 4. 今後に残された課題

定期的につけてきたこの活動を今後も継続していくこと。それには参加者を集める方法としての広報は勿論のこと、参加してみたいくなる内容や、講師の確保が必要である。

古損木や枯れ枝の除去、活動の範囲に危険な生物が営巣しないよう、下草刈りや整備を続け、参加者が安全に活動できるよう環境を整える。